

2-7.2_2

2) 見学旅行

1 物質生命化学科

社会の第一線で研究開発や製造に関わるための知識を獲得する、就職活動に必要な情報を獲得する、学科の先輩を含む社会人の皆さんの仕事に取り組む姿勢を学ぶ、社会人として求められている自主的・実践的な態度を身に付けるなどの目的で、学部3年生による工場見学を平成27年10月1日～2日に実施した。引率は町田教授(H28年度就職担当)、渡邊助教と3年担任の森村准教授・金助教の計4名で担当した。

当学科の工場見学では北九州地区と南九州地区を交互に訪問している。今年度は北九州地区を訪問した。訪問先企業様によっては受入人数に制限があったため、参加者の希望に応じて2つのコースに分かれて見学を実施した。1日目の見学後には全員がそろってホテルクラウンパレス北九州に宿泊し、相互の情報交換や意見交換などを行うことによって学生間の交流も行われた。

訪問先では、各企業のご担当者様から会社概要に関する説明と施設見学を実施していただき、学生からの質疑にもご対応いただいた。見学は両コースともに熱心に行われ、企業各社からの評価も高かった。工場見学にご協力いただいた各企業の関係者の方々にお礼を申し上げるとともに、今回の経験が学生にとって今後の学生生活や就職活動に生かされることを期待する。

日時:平成27年10月1日(木)～10月2日(金) 1泊2日

対象学年および参加学生数:学部3年次生 82名

引率教職員数: 4名

見学先:

(Aコース)

◎ 株式会社 旭製作所

〒864-0025 熊本県荒尾市高浜1978

☎ 0968-68-2121(代)

◎ 北九州市エコタウンセンター

〒808-0002 福岡県北九州市若松区向洋町10-20

☎ 093-752-2881(代)

◎ 日揮触媒化成株式会社 北九州事業所

〒808-0027 福岡県北九州市若松区北湊町13-2

☎ 093-751-1531(代)

◎ アサヒビール株式会社 博多工場

〒812-0895 福岡県福岡市博多区竹下 3-1-1

☎ 092-431-2701(代)

(Bコース)

◎ 株式会社 同仁化学研究所

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原 2025-5

☎ 096-286-1515(代)

◎ 北九州市エコタウンセンター

〒808-0002 福岡県北九州市若松区向洋町10-20

☎ 093-752-2881(代)

◎ 三菱化学株式会社 黒崎事業所

〒806-0004 福岡県北九州市八幡西区黒崎城石 1-1

☎ 093-643-2124(代)

◎ アサヒビール株式会社 博多工場

〒812-0895 福岡県福岡市博多区竹下 3-1-1

☎ 092-431-2701(代)

2 マテリアル工学科

マテリアル工学科では毎年、学部3年生を対象として、学生個人がこれまでに修得した専門教育をさらに意義深いものにするために、材料に関連する企業工場見学を実施している。本年度は関西圏内で生産活動を行うメーカー4社に事前に見学を依頼し、2日の日程で訪問した。それぞれの見学先では、現場の職員や卒業生の方々より懇切丁寧な説明を受け、また参加した学生からは積極的な質問があり、大変有意義な見学旅行が実施できた。

日程：9月3日(木)～4日(金)

対象学年及び参加学生数：学部3年生52名

引率教職員：3名(安藤新二, 眞山剛, 津志田雅之)

日程及び見学先：

9月3日 新日鉄住金株式会社製鋼所 (大阪府大阪市)

株式会社ジェイテクト国分工場(大阪府柏原市)

9月4日 川崎重工業株式会社明石工場 (兵庫県明石市)

山陽特殊製鋼株式会社 (兵庫県姫路市)

3 機械システム工学科

学部3年次を対象に、国内2つのコースに分かれて機械工学関係の企業の見学を行った。国内の企業を見学するため、関東地域と山口・北九州地区を選び、関東地区では3社、山口・北九州地区では5社を訪問した。それぞれの企業によって職業の特長や職場環境が異なり、学生が進路を考える上では非常に参考になったと考えられる。またこれまで授業で習ったことが活かされる場を見て、さらなる勉学に対する啓発が得られた。

<国内コース:関東地区>

見学日程:2015年9月24日(木)～9月25日(金) 2泊3日

見学地域:関東(神奈川)

見学企業:日本精工・藤沢工場および技術開発センター、IHI・横浜事業所、J-Power・火力発電所

見学引率:教員1名

見学学生:24名

<国内コース:山口・北九州地区>

見学日程:2015年9月15日(水)～9月17日(金) 2泊3日

見学地域:山口・北九州

見学企業:ブリヂストン久留米工場、ダイハツ九州久留米工場、長府製作所本社工場、

三菱重工下関造船所江浦工場、新日鉄住金八幡工場

見学引率:教員1名

見学学生:31名

4 社会環境工学科

平成27年9月18日、二年次学生を対象とした現場見学を実施した。現場見学に訪れることで、現場の雰囲気を感じ、座学で学習した知識の定着を図ることを目的とした。1年次研修では橋やダムの上陸構造、水循環、まちづくり、防災・減災に関する現場見学を行ったので、2年次現場見学会では、地下構造物に関して「高木トンネル」、景観に関して「曾木の滝」、環境に関して「水俣病情報センター」に現場見学に訪れた。行程は下表のとおりである。

最初に訪れた高木トンネルは、九州横断自動車道延岡線の御船層群を貫く延長479mのトンネルであり、熊本国道河川事務所が整備を進めている。工事現場では熊本河川国道事務所と前田建設工業(株)の現場の皆様が事業を進めるにあたっての課題や解決法、仕事のやりがいなどについて講演いただいた。つぎの訪問地である曾木の滝分水路及び推込分水路は、平成18年7月洪水において大きな被害を受けた川内川上流域の洪水被害を低減させるため、「川内川激甚災害対策特別緊急事業」(激特事業)により整備された分水路である。曾木の滝分水路は、当学科の小林教授及び星野准教授が計画に参画した事例であり、平成24年にグッドデザイン・サステイナブルデザイン賞を受賞している。設計を担当した星野准教授より、計画を立案するにあたっての課題や工夫について現場を見ながらの説明を受けた。最後に、水俣病情報センターに訪問し、水俣病に巻き込まれた人々の当時の状況と苦悩について学んだ。本研修は、学生にとって社会基盤整備の現場の問題・状況を深く学べる貴重な機会となり、今後の学習意欲の向上につながると期待される。

月/日(曜)	行程
9/18(金)	○乗車場所：熊本大学百周年記念館前 ○集合時間：8時30分
	熊本大学＝高木トンネル工事現場＝曾木の滝分水路・「轟く里」＝/ 9:00 9:40 10:40 12:45 14:15 /＝水俣病情報センター＝熊本大学 15:15 16:00 18:00

5 建築学科

1年生の合宿研修の一貫として、熊本県小国町・山鹿市を中心に、優れた建築を講師の解説とともに見学した。

日時:平成27年6月1日(月)～6月2日(火)

見学先:小国ドーム、ゆうステーション、木魂館 他(小国町)

参加学生数:58名

参加教員数:7名(特別講演会講師1名を含む)

6 情報電気電子工学科

学部 3 年次と大学院博士前期1年次を対象に、福岡地区、北九州地区の情報・電気・電子関連企業の見学旅行を日帰りの 2 日間にわたり実施し、各企業のものづくりやサービスの現場を視察した。

見学先:

[2 月 23 日(火)]

参加学生数:23 名(学部生 19 名、大学院生 4 名)、参加教職員数:3 名 計 26 名

- ① ニシム電子工業株式会社 佐賀工場(神埼郡)
- ② 株式会社安川電機(北九州市)

[3 月 1 日(火)]

参加学生数:24 名(学部生 21 名、大学院生 3 名)、参加教職員数:3 名 計 27 名

- ③九州電力株式会社 電力輸送本部 中央給電指令所(福岡市)
- ③ 新日鐵住金株式会社 八幡製鐵所(北九州市)

見学後の報告では、見学を通して名前だけでは分からなかった企業の実務を知ることができた、生産の現場の規模に圧倒された、「会社を支えるのは現場である」との言葉に深みを感じた、先輩方からのコメントが具体的で役に立った、電気系出身の活躍の現場が予想以上に広いことを知り視野が広がった、情報系を希望しておりソフトウェア関連の産業だけしか見ていなかったが今回の見学でその他の産業にも活躍のフィールドが広がっていることに気づいた、大学で学んだ内容が基礎として役立ち生かされていることを知った、これまで BtoC の企業だけしか視野に入っていなかったが BtoB の企業の存在も知り企業研究の重要性を知った、訪問先での説明を聞いて就職に対する心構えが備えられた、自分の業界に対する視野の狭さを痛感した、自分の知識やアピール力のなさを認識する機会となった、どの会社もコミュニケーション能力を重視しているように見えた、自分のやりたい仕事やどういう基準で就職先を選ぶかなどが少し見えてきた、興味がある企業だったが今回の見学でますます興味をもった、などの感想が多数寄せられ、有意義な見学となった。

7 数理工学科

該当なし